

■代表挨拶

新年度、平成11年度の初頭にあたり、一言挨拶申し上げます。

長引く「平成不況」はスポーツの世界にも大きな影響を及ぼし、特に実業団チームでは廃・休部が続出するほか、多方面で縮小・再編化が見られるようになりました。加えて、少子・高齢社会に突入、競技スポーツそのものの足元をじっくり見直す時期がきたようです。

一方、一般においては、健康のため、運動やスポーツを実践する人は増えています。スポーツそのものが変容しつつあるという実感を抱かざるをえません。

本会は会名の通り競技スポーツ領域を対象としておりますが、悲観することなく、より広い視点で我々が研究・実践してきたことを捉え直し、より一層確かなものとし、さらに発展させていくことが求められていると言えるでしょう。

今年度の研修会（10月23日、24日、川崎市産業振興会館）で「スポーツ選手のリコンディショニング」をテーマに掲げましたのも、そういう流れからのものとご理解いただきたく存じます。

また、昨年度は、夏期合宿講座を福岡で、研修会を名古屋で開催するなど、地方での事業展開を積極的に行いました。本年度も、ワークショップを熊本県で開催する予定となっております（日野邦彦準備委員長）。さらにインターネット委員会を設置、会員専用の会議室・掲示板の活用を始め、全国的なコミュニケーションの円滑化を推進していくことになりました。

今年度も本会への積極的なご参加をお願い上げる次第です。スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会代表 村井貞夫

■今後の事業案内

平成11年度第1回講習会開催のお知らせ

「アイシング再考」～急性スポーツ外傷の救急処置の理論と応用～

近年、スポーツ外傷の救急処置としてのRICE処置は、その効果および方法についての認識の高まりとともに国内のスポーツ現場でも定着しつつあります。しかしながら、アイシングの生理的効果やその限界については深く理解されないままマニュアル的に実施されているのが現状でしょう。すなわち、機能回復や外傷治癒のためにもっとも効率的なプロセスについては深く議論されていないように思われます。

今回は、靱帯の治癒機転やアイシングを中心とした救急処置につい

て、専門的にご研究されている整形外科医より救急処置の理論をご講義頂いた後、実際にスポーツ現場でご活躍されているトレーナーより、救急処置の実践についてご紹介頂く予定です。

■開催要項

日時：平成11年6月6日(日)9:30～16:00(9:00受付開始)

場所：横浜市スポーツ医科学センター（横浜国際総合競技場内）

交通：JR横浜線（東海道新幹線、市営地下鉄）新横浜駅下車、徒歩15分・JR横浜線小机駅下車、徒歩10分

受講料：会員5,000円、一般7,000円

（予約不要、当日入会可）

プログラム：

講義1「靱帯の治癒過程とリハビリテーション」福林 徹・東京大学大

●第14回夏期合宿・平成11年度基礎教育講座プログラム

【8月27日(金)】

- | | |
|-------------|---|
| 9:00～10:00 | 受付開始 |
| 10:00～10:30 | 開講式 |
| 10:30～12:00 | 講義1「スポーツの動作分析～基礎と臨床」
浦田和芳・横浜市スポーツ医科学センター |
| 12:00～13:00 | 昼休み |
| 13:00～14:30 | 講義2「スポーツにおける整形外科的疾患」
鳥居 俊・早稲田大学 |
| 14:45～17:15 | 講義・実技3「ランニング動作について」
板倉尚子・日本女子体育大学 |
| 17:15～18:30 | オリエンテーション・夕食 |
| 18:30～21:00 | 講義・実技4「ジャンプとステップ動作について」
唐沢 豊・茅ヶ崎市立病院 |

【8月28日(土)】

- | | |
|-------------|--|
| 9:30～12:00 | 講義・実技5「投動作について」
宮本三千男・多摩リハビリテーション学院 |
| 12:00～13:00 | 昼休み |
| 13:00～15:30 | 講義・実技6「武道について～剣道を中心に～」
紺野正紀・都立蔵前工業高校 |
| 15:45～18:15 | 講義・実技7「コンタクトスポーツについて」
小林寛和・スポーツ医科学研究所 |
| 19:00～21:00 | 懇親会 |

【8月29日(日)】

- | | |
|-------------|--|
| 9:00～11:00 | 症例検討会
座長・白川 守・関東労災病院
講師・寺園圭一・城所整形外科
岡村幸枝・トータル・ケア・システム |
| 11:00～11:30 | 閉講式 |

学院生命環境科学系

講義2「アイシングの冷却効果と臨床的意義」池田耕太郎・筑波大学臨床医学系整形外科

講義3「スポーツ現場における救急処置の工夫」小林寛和・7スポーツ医・科学研究所

講義4「亜急性期の足関節捻挫への対応」寺園圭一・城所整形外科

問い合わせ先

学術部 蒲田和芳

横浜市スポーツ医科学センター理学療法室 TEL 045-477-5065 (直)
e-mail: kazg@kk.ij4u.or.jp

第14回夏期合宿講座・平成11年度基礎教育講座の受講に関するお知らせ

本年度第14回夏期合宿講座は8月27日～29日に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催されます。また基礎教育講座は同時開催となり27日のみの参加となります。今回はテーマを「スポーツにおける動作分析とアスレチックリハビリテーション」とし、動作分析の基礎と臨床から各運動動作に関して講義と実技を含めた内容を企画しております。内容の詳細につきましては前頁プログラムをご参照下さい。また申し込みにつきましては今回ニュースに同封いたしました、「今年度事業参加アンケート」をもちまして申し込みといたしますので、参加欄に○印を付け、必要事項をご記入の上5月末日までに返信下さい。尚、年会費未納の会員の方は受講できませんのでご注意下さい。

申し込み・問い合わせ先

〒157-0061東京都世田谷区北烏山8-19-1 日本女子体育大学健康管理センター 板倉尚子
TEL&FAX 03-3300-3743

■事業報告

平成10年度第2回講習会報告

平成10年度第2回講習会の結果をご報告させていただきます。

参加者は合計72名(会員45名、一般27名)でした。「外傷予防のため

の筋力とスキル」というテーマの下、各講師の先生のご専門の種目であるコンタクトスポーツ(蒲田)陸上(深代先生)器械体操(脇元先生)野球(円子先生)剣道(紺野先生)のトレーニングについてご講演頂きました。外傷、パフォーマンス、トレーニング、スキルといった科学的に整理のしにくい部分を、各先生には有機的に結合させた形の視点や方法をご呈示頂きました。

ご講演頂きました講師の先生方、講習会運営に携わって頂いた準備委員各位にこの場を借りて深謝申し上げます。(学術部長 蒲田和芳)

平成10年度第2回講習会に参加して

去る平成11年3月14日、横浜市スポーツ医科学センターにて開催された第2回講習会に参加させて頂いたのでご報告いたします。「外傷予防のための筋力とスキル」というテーマに基づき、実際に現場で取り入れられている具体的なトレーニング、スキル向上のための手段等、教えて頂きました。まず蒲田先生の「外傷予防のための筋力とスキル」では基本的な運動機能と外傷発生のメカニズム、対策と予防について御講義頂きました。関節運動からスキルに至る過程と実際の臨床でのリハビリから復帰の過程が明確になり、スキル向上を兼ねたトレーニング法がより具体的に把握できました。深代先生の「筋力とスポーツパフォーマンス——走動作、跳躍動作を中心に」では、単に力を強めるのではなくパフォーマンスの中での筋力の発揮と脱力されているべき部分を知る必要性を感じました。午後のシンポジウム「競技特性からみた外傷予防のための筋力とスキル」では、医療機関・学校・実業団チームに携わっている各先生方に実際の現場の経験をもとにお話し頂きました。脇元先生は、女子体操競技を見ていく上で、補強等練習時間の問題点を指摘されました。紺野先生は、クラブ活動の枠の中でいかに生徒の

意識を高めるか、また剣道で起こりやすいスポーツ外傷をビデオでの動作分析にてわかりやすく説明して頂きました。円子先生は、野球部実業団の実際の症例をもとに、リハビリから競技復帰までの過程をお話し頂きました。実際の投球動作改善の工夫をいろいろな角度から実践されているのを感じました。

全体を通して、選手個人の特性とリスクを念頭に置き、安全でかつ競技力を高めるべくスポーツトレーニングを学んでいく重要性を感じました。今後はまず基本の関節運動を頭だけでなく目と耳で把握できることが課題になりました。

(城所整形外科 鈴木晴絵)

■各部・各委員会からのお知らせ■
今年度事業参加に関するアンケート回答のお願い

今年度事業開催予定は、下記の通りとなっております。つきましては会員の方の事業参加希望のアンケートを実施いたします。同封いたしました返信用ハガキの各事業の参加・不参加の欄に○印を付け(未定の場合は無印)必要事項をご記入の上5月末日までに返信して下さい。

尚、第14回夏期合宿講座および平成11年度基礎教育講座への参加を希望される会員の方は、このアンケートをもって参加申し込みとさせていただきます。またその他の事業の詳細は随時ニュースでご案内させていただきます。[お願い]

アンケートハガキのEメールアドレスは、会員専用サイト掲載のものです。会員以外は閲覧できないサイトです。アドレスをお持ちの方はご記入下さい。

また、会員専用サイト(6月1日オープン)に入るためのIDとパスワードを発行しますが、パスワードはご希望のものに設定することができます。最下欄に次のように希望されるパスワードを記入して下さい。パスワードは「英文字(大文字・小文字) 数字、計8桁以内」で構成して下さい。

●平成11年度事業予定

第14回夏期合宿講座

日時：平成11年8月27日(金)～29日(日)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

テーマ：「スポーツの動作分析とアスレチックリハビリテーション」

平成11年度基礎教育講座

日時：平成11年8月27日(金)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

テーマ：「スポーツの動作分析とアスレチックリハビリテーション」

第17回研修会

日時：平成11年10月23日(土)～24日(日)

場所：川崎市産業振興会館(神奈川県川崎市)

テーマ：「スポーツ選手のリコンディショニング」～スポーツフィールドに必要な後遺症対策～

第8回ワークショップ

日時：未定

場所：熊本県内予定

テーマ：未定

第17回研修会一般演題募集

来る平成11年10月23日(土) 24日(日) 川崎市産業振興会館(神奈川県)にて第17回研修会が開催されます。ここでは一般演題のセッションを設けており、下記の要項にてスポーツ選手のリハビリテーションに関する研究発表を広く募集いたします。

■応募要項

募集内容：アスレチックリハビリテーションに関する内容。特に「リコンディショニング」をテーマとし、後遺症の問題やその対処法などに関する発表。

応募資格：誰でも応募可能。ただし研修会における発表資格は、当会の会員に限定される。応募の時点で未入会の場合は、平成11年6月末日までに当会への入会手続きを行うこと。

応募期間：平成11年6月10日(木)より6月末日(当日消印有効)まで。

応募方法：6月10日までに、下記宛てに必要書類を請求し、抄録、整理カードを下記まで郵送する。抄録、整理カードの提出をもって、演題の申し込みとする。応募方法の詳細は、前号のARFAに同封の要項を参照のこと。または以下の問い合わせ先まで、E-メールかFAXで。

応募・問い合わせ先

スポリハ研究会 第17回研修会学術部 木田貴英

〒229-1116 神奈川県相模原市橋本2-8-18 相模原協同病院理学診療科
FAX 042-771-6709

e-mail : a-kida@pf.highway.ne.jp

ホームページ : <http://www.atacknet.co.jp/ARFA/index.html>

「SR研究基金」のご案内

当研究会では発足15周年を記念して3年前より「SR研究基金」を開設いたしました。以下、その内容を示しますので、是非ご利用下さい。

■概要

当会会員の学術的研究や海外調査など、会の目的に沿う内容の活動に対し、より価値ある成果を得るための資金的援助を提供するもので、その内容は以下の通りです。

研究助成金

当会の目的に沿った内容の研究計画を募集、審査の上、成果が期待されるものに給付。当会の研修会「一般演題」での発表義務を伴う。

応募方法：A3用紙1枚に、当該研究の背景となる先行研究(5件以上) 研究の背景、目的、オリジナリティ、方法、予想される結果を明記し、平成11年5月31日(当日消印有効)までに、下記の研修会学術部長宛に送付して下さい。当選の結果は、6月以降のARFAニュースで発表いたします。

受領後の義務：

a. 同年の研修会において、給付を受けた当該研究の成果を発表することになります。

b. 当該研究に関して、各種研究会発行物(ARFAニュース、研究会発行雑誌JAR)などへの執筆をお願い

いたします。

研究奨励金

研修会「一般演題」の審査結果に、発表時の評価を加味し、優秀な研究発表に対して給付される。

対象：助成金受給者を除くすべての一般演題発表者が審査対象となります。

受領後の義務：当該研究に関して、各種研究会発行物(ARFA、JAR)などへの執筆をお願いします。

SR基金への応募方法を始めとする詳細は、前号のARFAに同封の要項を参照のこと。または以下の問い合わせ先まで、E-メールかFAXで。

応募先

スポリハ研究会 第17回研修会学術部 木田貴英

〒229-1116 神奈川県相模原市橋本2-8-18 相模原協同病院理学診療科
TEL 042-772-4291 FAX 042-771-6709

e-mail : a-kida@pf.highway.ne.jp

問い合わせ先

SR研事務局代行

〒164-8604 (有)ブックハウスHD内

TEL 03-3372-6251 FAX 03-3372-6250

ホームページ : <http://www.atacknet.co.jp/ARFA/index.html>

平成11年度年会費納入について

平成11年4月1日からの新年度に際し、平成11年度の年会費の納入を会員の皆様をお願い申し上げます。SR研定款細則第1第7条により、年会費納入期限は7月31日となっております。納入要項を参照の上、遅延のないよう切にお願い申し上げます。

領収書が必要な場合は、会費納入後に会員番号、氏名、送付先住所を明記の上、振替票控えを同封し、下記宛てにお送り下さい。折り返し領収書を発行させていただきます。ただし、領収書の宛名は個人名に限らせていただきます。病院名、企業名の連名等はできませんので予めご了承下さい。

年会費未納の方は平成11年度事業には参加できませんのでご注意下さい。

い。	記載し、上記の該当金額を郵便局よりご送金下さい。なお、通信欄には何も記載しないで下さい。住所変更等の通信事項のある方は別途ハガキにて下記までお送り下さい。なお、第1回講習会に参加される方は年会費納入の確認のため、振替票控えを当日お持ち下さい。	て、年会費受付窓口で直接お支払い下さい。
■年会費納入要項	第1回講習会（6月6日開催）に	問い合わせ先
年会費額：正会員—10,000円、準会員—10,000円、学生会員—5,000円		〒164-8604（住所表記不要）(有)ブックハウス・エイチディ内 TEL 03-3372-6251 FAX 03-3372-6250
納入期限：平成11年7月31日		スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会事務局代行
納入方法：下記の かのどちらかの方法で納入願います。		
同封の郵便振替用紙に必ず、氏名、連絡先住所、連絡先電話番号を		

資料 1

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会 平成10年度収支計算報告書				
平成11年3月31日締				
勘定項目	平成10年度予算	平成10年度決算	差異（ ）	備 考
収入	円	円	円	
年会費 正会員	1,250,000	1,370,000	120,000	10,000円×137名
年会費 準会員	1,800,000	1,700,000	100,000	10,000円×170名
年会費 学生会員	125,000	135,000	10,000	5,000円×27名
年会費 賛助会員	1,500,000	1,700,000	200,000	50,000円×34口
入会金 新規会員	150,000	186,000	36,000	3,000円×62名
事業収入	800,000	2,665,371	1,865,371	講習会No.1、夏期合宿、研修会
雑収入	300,000	11,701	288,299	銀行利息
当期収入合計 A	5,925,000	7,768,072	1,843,072	
前年度繰越金	1,897,032	1,956,126	59,094	
積立費より取崩し	0	1,000,000	1,000,000	
収入合計 B	7,822,032	10,724,198	2,902,166	
支出	円	円	円	
通信連絡費	450,000	284,705	165,295	
事務消費費	150,000	193,156	43,156	
会議費	750,000	550,489	199,511	
役員行動費	150,000	0	150,000	
人件費	600,000	200,000	400,000	
備品費	100,000	390,703	290,703	
備品管理費	150,000	75,369	74,631	
事業費	400,000	400,000	0	
会報作成費	350,000	255,990	94,010	ARFA NEWS
教材資料作成費	250,000	199,080	50,920	会員証作成、研修会誌
雑費	50,000	29,363	20,637	
事務委託費	3,600,000	3,600,000	0	
JAR 購入費	450,000	705,499	255,499	
HP設営運営費	0	2,703,750	2,703,750	
住所録作成積立費	50,000	50,000	0	
会誌作成積立費	50,000	50,000	0	
事務局設営積立費	100,000	50,000	50,000	
SR基金積立費	50,000	50,000	0	
支出合計 C	7,700,000	9,788,104	2,088,104	
当期収支差額 A - C	1,775,000	2,020,032	245,032	
次期繰越金 B - C	122,032	936,094	814,062	
積立費残高 住所録作成積立費¥631,433-、会誌作成積立費¥1,406,106- 事務局設営積立費¥6,036,614-、SR基金積立費¥681,533- 資料作成積立費¥1,018,553-				

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
第 7 回ワークショップ収支計算報告書
(平成11年 1 月23日～24日開催)

平成11年 1 月30日付

勘定項目	予算金額	決算金額	差異 ()	備 考
収入の部	円	円	円	
会員 / 2 日間	900,000	1,040,000	140,000	20,000円 × 52名
1 月23日のみ	50,000	20,000	30,000	10,000円 × 2名 * 1
一般 / 2 日間	200,000	360,000	160,000	40,000円 × 9名
1 月23日のみ	100,000	140,000	40,000	20,000円 × 7名 * 1
展示料	0	5,000	5,000	5,000円 × 1社
雑収入	0	6,000	6,000	3,000円 × 2名 (懇親参加)
ワークショップ収入合計 A	1,250,000	1,571,000	321,000	
事業費	30,000	30,000	0	
収入合計 B	1,280,000	1,601,000	321,000	

支出の部	円	円	円	
通信連絡費	60,000	51,388	8,612	切手代、電話代、発送料
事務消耗費	5,000	4,614	386	事務物品代、コピー代
運営費	100,000	103,823	3,823	* 2
会場費	100,000	80,400	19,600	会場借用料
講演費	500,000	509,225	9,225	* 3
人件費	70,000	52,200	17,800	準備および当日アルバイト
懇親会費	200,000	210,000	10,000	
資料作成費	60,000	52,836	7,164	資料集作成費用
教材費	5,000	976	4,024	
雑費	150,000	145,855	4,145	昼食代含む
支出合計 C	1,250,000	1,211,317	38,683	

差引差額 A - C	0	359,683	359,683	
差引差額 B - C	30,000	389,683	359,683	一般経理繰入

* 1 : 懇親会費含まず

* 2 : 会議費、交通費、準備委員宿泊費・食事費、反省会費他

* 3 : 内部講師 8 名・助手 4 名 (交通費・宿泊費含む)

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
平成10年度第2回講習会収支計算報告書
(平成11年3月14日開催)

平成11年3月23日締

勘定項目	予算額	決算額	差異()	備 考
収入の部	円	円	円	
参加費 会員	200,000	225,000	25,000	5,000円×45名
一般	70,000	189,000	119,000	7,000円×27名
展示費	0	5,000	5,000	5,000円×1社
講習会収入合計 A	270,000	419,000	149,000	
事業費	20,000	20,000	0	
収入合計 B	290,000	439,000	149,000	

支出の部	円	円	円	
通信連絡費	10,000	6,430	3,570	切手代他
事務消耗費	5,000	3,780	1,220	
運営費	40,000	16,800	23,200	
会場費	40,000	39,200	800	視聴覚機器借用料を含む
講演費	170,000	170,000	0	講師謝礼 *1
人件費	20,000	20,400	400	受付・接待アルバイト
資料作成費	2,000	1,675	325	
雑費	3,000	3,714	714	
講習会支出合計 C	290,000	261,999	28,001	

差引差額 A - C	20,000	157,001	177,001	
差引差額 B - C	0	177,001	177,001	

*1 : 外部講師 1 ・ 内部講師 1 名 ・ 症例検討 3 名 (外部 1 名 ・ 内部 2 名)